

NOC 技術ノート NO.15

日光亀裂防止剤

サンノックについて

(3)

前二回においては夏～秋季にかけての曝露試験結果を報告してきましたが、冬～春季にわたっての曝露試験も行なっておりますので、今回はその曝露試験結果について報告します。

サンノックに関する実験データ

実験 2 サンノックと対応国内品 A, B との比較
(冬～春季曝露試験)

配合, 加硫条件は前報夏～秋季の場合と同じにした。曝露時間および場所は昭和 36. 1. 6～36. 3. 20, 弊社志村工場で、曝露の方法は A. S. T. M. D518-57T に準じて行なっている。

亀裂度の判定は前々回の表 1. 2 の基準によって行なったが更に今回は写真撮影による判定も行なった。

曝露条件も夏～秋季の場合と同じく次の条件を採った。

- 日光曝露 (晴天のみ)
- 屋外連続曝露 (昼夜, 晴雨に関係なく連続)

◦ 日蔭曝露 (直射日光と雨雪をさけ風通しのよい屋外) 上の条件と更に次の条件も加えた。

- 加硫後ただちにループ状にセットして曝露
- 加硫後プレートのままで、1 週間放置後ループ状にセットして曝露
- 加硫後ただちにループ状にセットして、1 週間室内放置後曝露

実験結果 2. 1

表 1. 2 (ゴム協, 35, 60 (1962) 参照) による判定は測定者の主観的観察が入らぬよう留意した。次に曝露試験結果を表示し、次ページに写真判定資料を示した。

結果 2. 1. 1 カarbon配合, 日光曝露

- 加硫後ただちにループ状にセットして曝露した場合

	曝露時間										
	0	24	48	72	96	120	144	168	192	216	220
コントロール	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
サンノック	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
対応品 A	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
対応品 B	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

- 加硫後プレートのままで 1 週間放置後ループ状にセットして曝露した場合

コントロール	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
サンノック	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
対応品 A	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
対応品 B	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

- 加硫後ただちにループ状にセットし 1 週間室内放置後曝露した場合

コントロール	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
サンノック	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
対応品 A	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
対応品 B	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

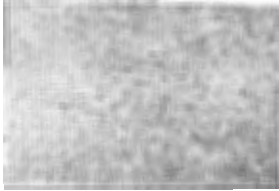
写真12 日光曝露試験結果

写真倍率×3

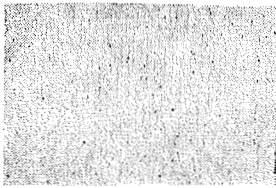
曝露時間 220 時間

カーボン配合 A.S.T.M. D 518 B

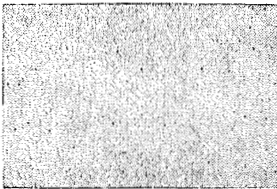
。加硫直後ただちにループ状にセットして曝露した場合



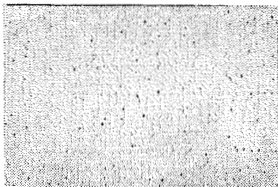
コントロール



サンノック

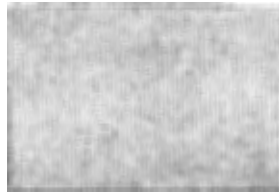
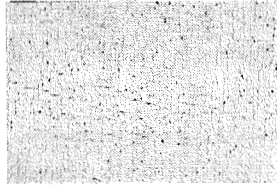


対応品 A

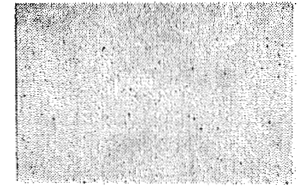
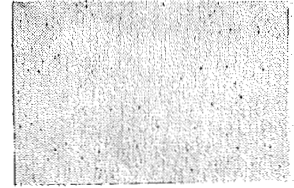


対応品 B

。加硫後プレートのままで一週間放置後ループ状にセットして曝露した場合



。加硫直後ただちにループ状にセットして一週間室内放置後曝露した場合



次回につづく 大内新興化学工業株式会社